

老年医学

Gerontology

単位数：2単位

○内科学講座（内科学第三） 教授の後任

矢野彰三 准教授：臨床検査医学

1. 科目の教育方針

生活習慣病や変性疾患等による老年期における神経系、内臓系、運動器系等の機能障害の病態生理と予防、治療、高齢者の健康福祉システム等について教授する。

2. 教育目標

一般目標 general instructional objectives

- 1) 加齢や老化に伴う神経系機能低下および加齢関連疾患による中枢神経障害に基づく神経機能障害の病態について理解する。
- 2) 脳血管障害の成因、病態そして予防法を習得する。
- 3) 加齢に伴う骨格変化や筋力低下の原因としての代謝内分泌的变化ならびに結果としての転倒骨折とその影響について理解する。
- 4) 糖尿病や慢性腎臓病に伴う心血管病変の病態と予防法を学習する。

行動目標 specific behavioral objectives

- 1) 認知症をきたす疾患を分類し、その成因と症状について説明できる。
- 2) 脳機能の評価方法を列挙し、その特徴を説明できる。
- 3) 脳血管障害の分類に応じて、その予防法を説明できる。
- 4) 骨折の危険因子を列挙し、骨粗鬆症の予防について説明できる。
- 5) 骨量や骨代謝動態の評価方法を知り、それぞれの特徴を説明できる。
- 6) 糖尿病や慢性腎臓病に伴う心血管病変の特徴を説明できる。

3. 教育の方法、進め方

セミナー等を含めたオムニバス形式を基本とする。

4. 成績評価の方法

講義のテーマに関するレポートの評価及びセミナーへの出席による。

5. 使用テキスト・参考文献

- ・認知症テキストブック 編集：日本認知症学会
- ・脳卒中治療ガイドライン 2015 編集：日本脳卒中学会
- ・注意と意欲の神経機構 編集：高次脳機能障害学会
- ・骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2015年版：骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会
- ・生活習慣病骨折リスクに関する診療ガイド：日本骨粗鬆症学会・生活習慣病における骨折リスク評価委員会
- ・糖尿病治療ガイド：日本糖尿病学会

- ・CKD ステージ G3b～5 診療ガイドライン 2015：慢性腎不全診療最適化による新規透析導入減少実現のための診療システム構築に関する研究 研究班
- ・慢性腎臓病に伴う骨・ミネラル代謝異常の診療ガイドライン：日本透析医学会

6. 教育内容

- 1) 循環器疾患、糖尿病の頻度と分布を測定する技術を習得させる。
- 2) 循環器疾患、糖尿病の発生要因を明らかにするための基礎的知識を習得させる。
- 3) 集団を対象とした循環器疾患、糖尿病の予防対策の立案、実施、評価に必要な知識を習得させる。
- 4) 運動・知覚レベルから高次認知機能までヒトの行動を支える神経機構を理解させ、加齢や老化に伴う機能低下そして各種疾患による中枢神経障害に基づく神経機能障害の病態およびその治療について取得させる。
- 5) 高齢者の栄養不良（やせ）や栄養過多（肥満）が生命予後、心血管疾患および骨折の発症に与える影響とその病態を解明するために必要な知識と技術を習得させる。

回	授業内容	担 当
1	認知症の疫学と疾患分類	内科学第三教授の後任
2	認知症の薬物療法と非薬物療法	〃
3	認知症の行動心理症状とその対策	〃
4	パーキンソン病類縁疾患の病態と治療	〃
5	脳血管障害の危険因子と一次予防	〃
6	脳血管障害の急性期治療と再発予防	〃
7	高齢者疾患の薬物治療と漢方医学	〃
8	高次脳機能の検査方法と加齢性変化	〃
9	骨粗鬆症の疫学と病態	矢野彰三
10	骨粗鬆症の予防と治療	矢野彰三
11	サルコペニアとロコモティブ症候群	矢野彰三
12	生活習慣病における骨折リスク	矢野彰三
13	高齢者糖尿病の抱える問題とその対策	矢野彰三
14	糖尿病腎症進展の予防と治療	矢野彰三
15	慢性腎臓病に伴う骨ミネラル代謝異常	矢野彰三